

(10月20日)

島後:カブラ杉、浄土ヶ浦、白島(しらしま)海岸(8時30から12時ころ)【写真-17、18、19、20】

最終日は、朝8時に海士町菱浦港から高速船「レインボージェット」に乗船し、40分ほどで島後へ戻る。速い！しかし、天気は島後に近づくにつれ悪くなり、北東風がかなり強く吹き付け、雨も伴うようになった。8時半に西郷港からバスで今日の目的地へと向かう。

カブラ杉は大杉の一つであり、同じ根元から5本に分かれて上へまっすぐ伸びている。樹齢は約600年と言われている。

浄土ヶ浦は、日本が大陸から分離し始めるころ、2600万年前の火山活動の地層や日本海がまだ湖であったころの地層を見ることができると書いてあったが、10m/sを超える風雨で波が高く、海岸沿いの遊歩道を歩くことが出来なかった。

白島海岸に着いたころは少し天候が回復し、遊歩道を歩き沖合の島を一望できる展望台まで行くことが出来た。白島海岸には、アルカリ流紋岩や粗面岩で出来た白い岩島、玄武岩で出来た黒い低い岩島を見ることが出来るとされており、展望台からそのことを確認できた。なお、写真-19で最も左の灯台のある岩島は「沖ノ島」で「オオミズナギドリ」繁殖地として貴重な島である。また、ここでは一年中アジサイの花が開いているとのこと。しかし、今年は猛暑で枯れている花が多かったが、そんな中でも満開のアジサイを確認することが出来た。これも隠岐の不思議な植生の一つである。

